



デッキ下地がコンクリート仕上げでない
場合は束石をご使用ください。



束石の位置に穴を掘り、割栗石を敷き込みます。
※割栗石は突き固めてください



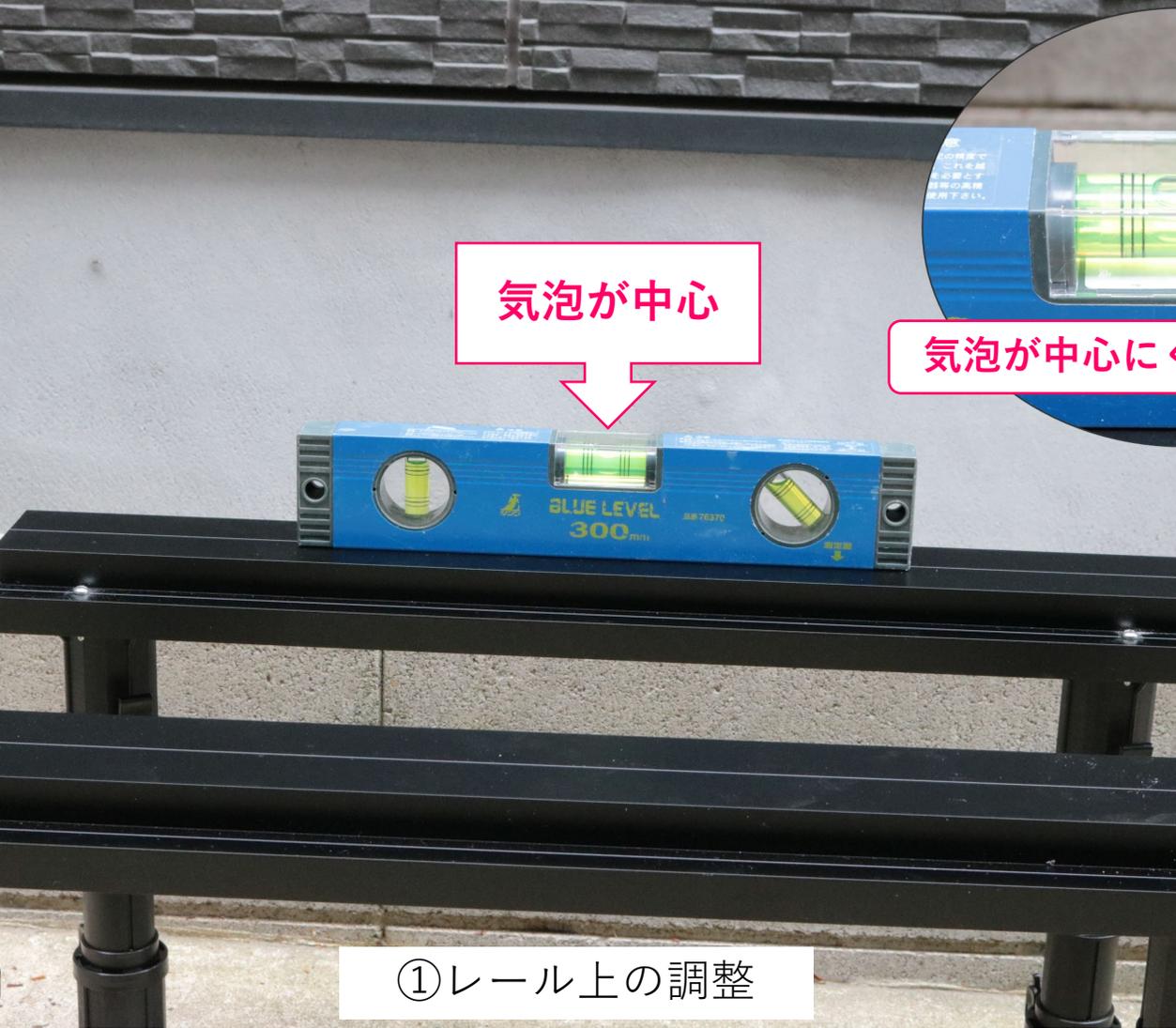
束石は上面の寸法が150mm×150mm以上の物
を使用し、100mm以上埋め込んでください。

水糸や水平器等を使用し、束石上面の高さと水平を
確認後、埋め込みます。



アルミ根太レールにマルチポストの台座部分に
スライド挿入して位置を確定させます。

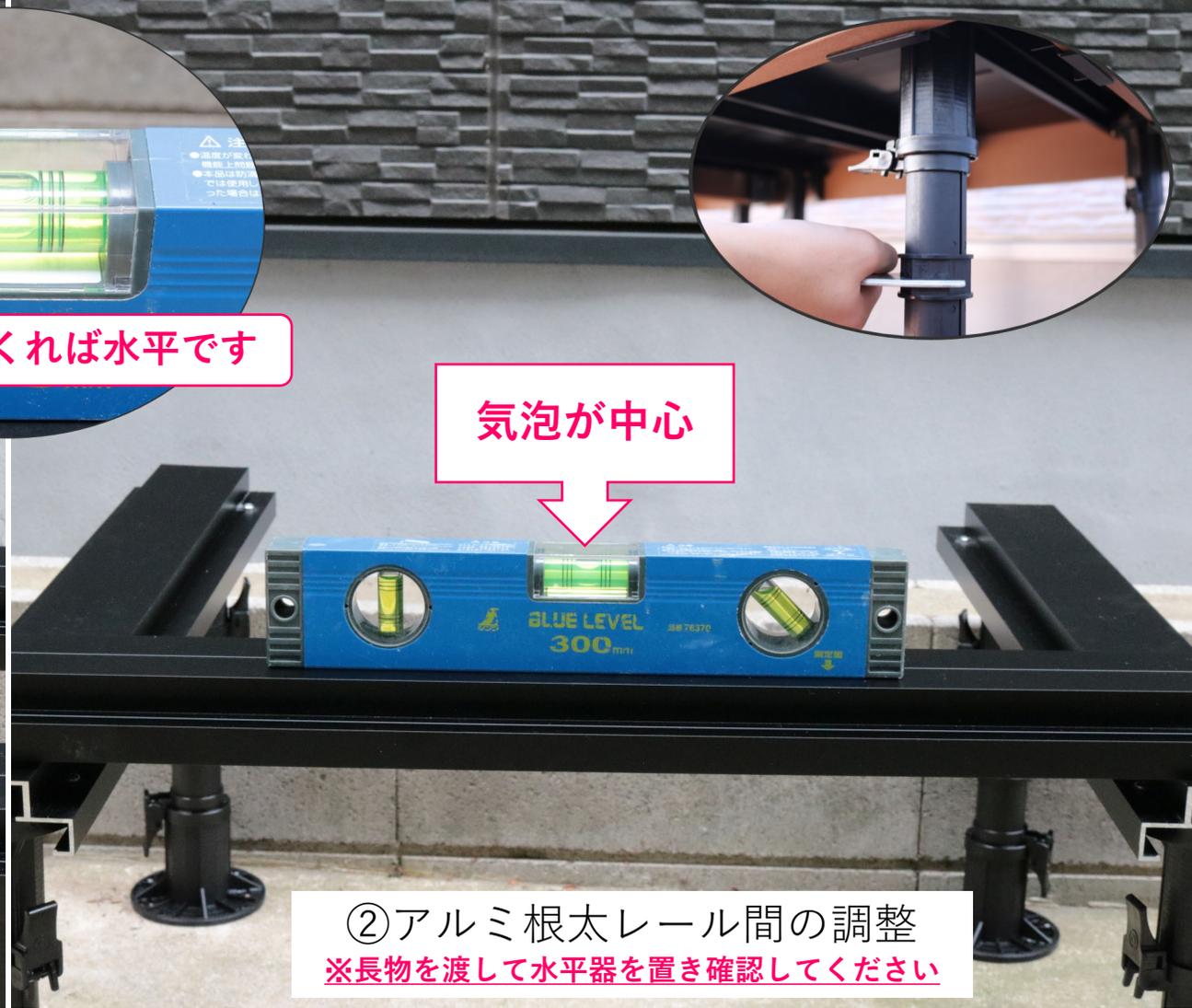
位置決め後、ナベドリルビス（Φ4×25ミリ）
でマルチポスト1本あたり2か所留め付けます。



気泡が中心

気泡が中心にすれば水平です

①レール上の調整



気泡が中心

②アルミ根太レール間の調整
※長物を渡して水平器を置き確認してください

水平器等でアルミ根太レールの上面で水平と高さを確認します。①アルミ根太レール直線上 ②アルミ根太レール間
※傾きが見られる場合はマルチポストで調整してください ※専用の調整治具（右上写真）を使用すると便利です



マルチポストの位置が決定したら束石に鉛筆等で墨付けをします。



アルミ根太レール天端高さ調整完了。

ご注意

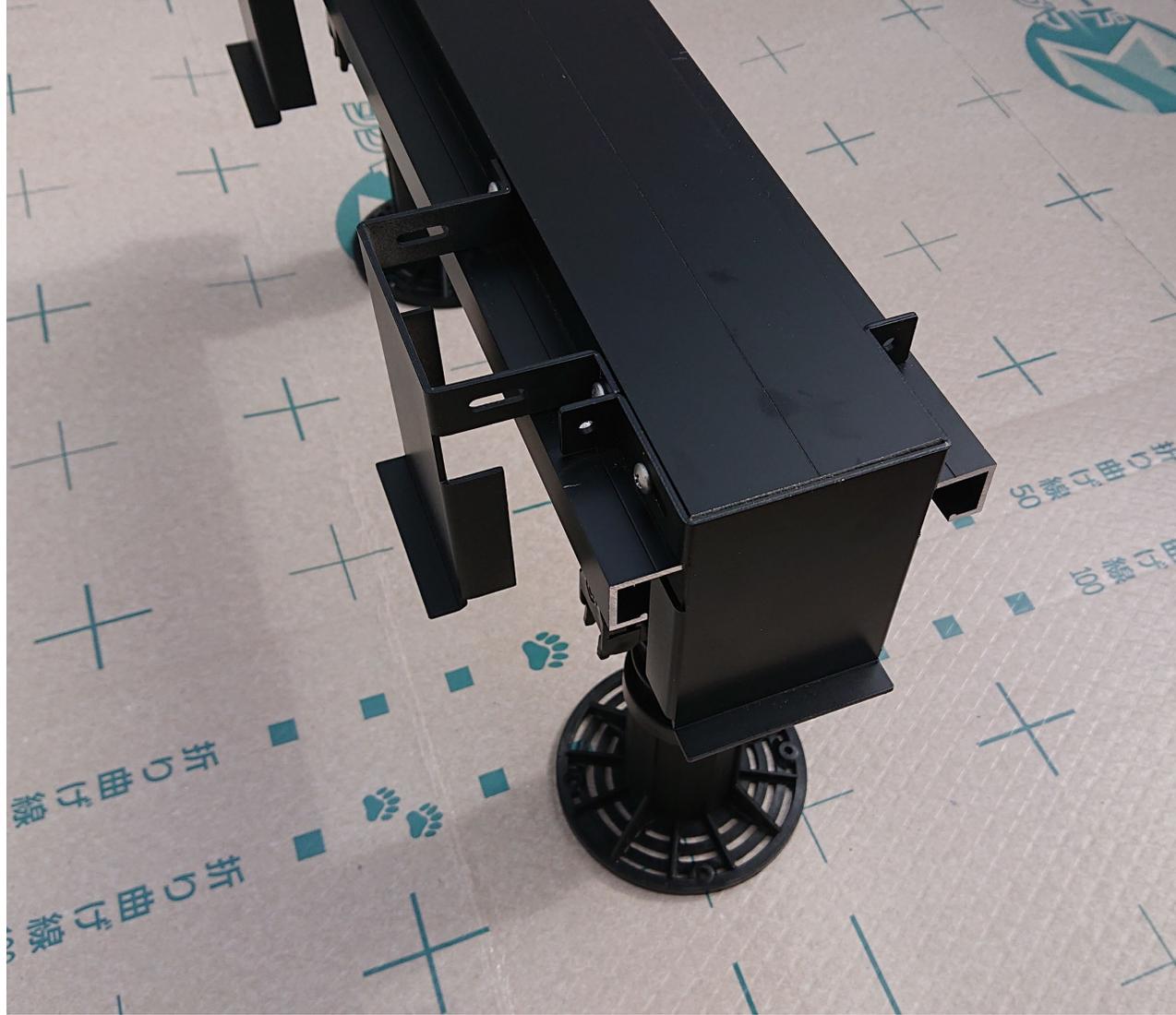
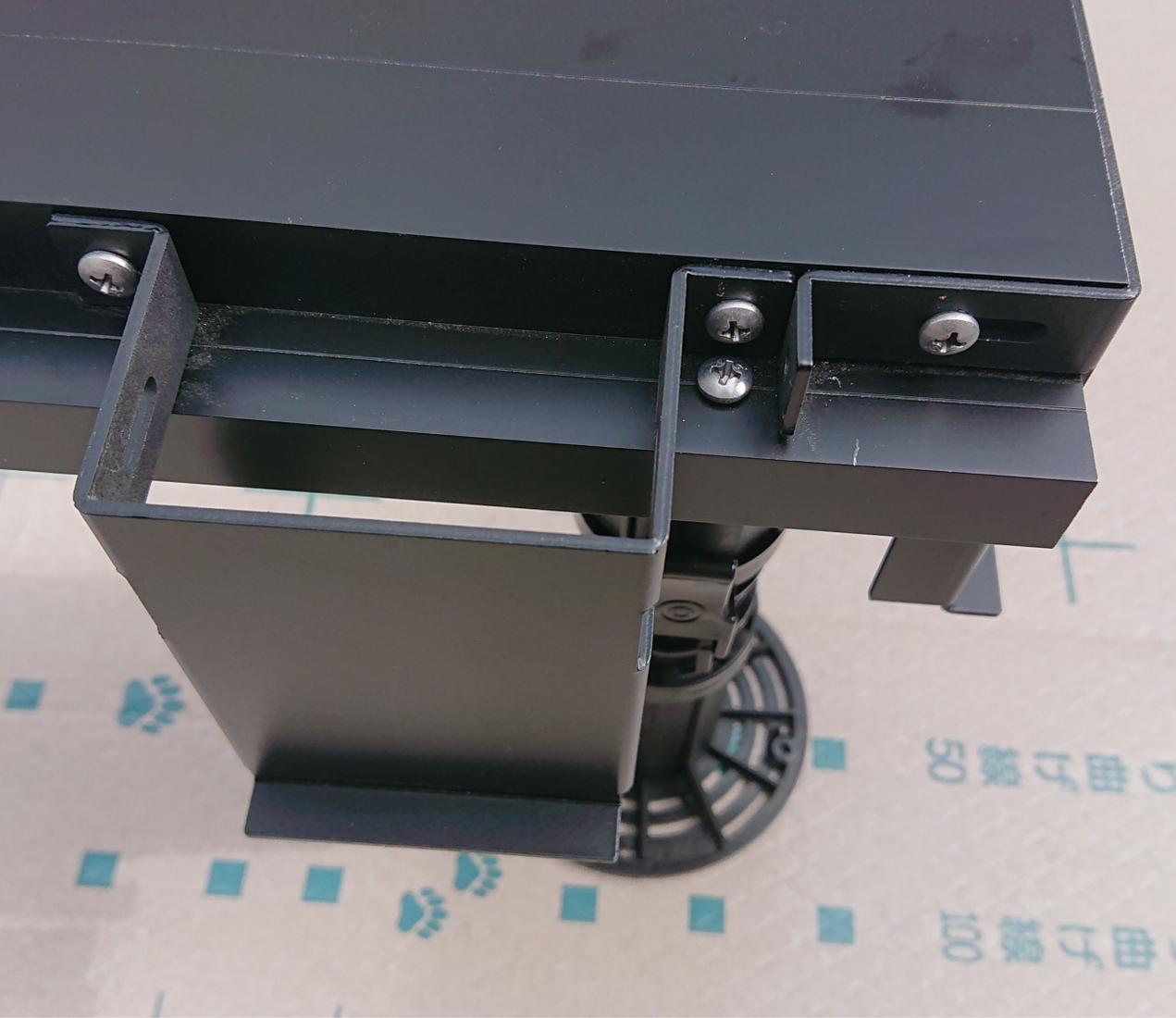
- ①接着後は必ず1日以上養生期間を設けてください。
- ②接着剤が硬化した事を確認して次の工程に進んでください。



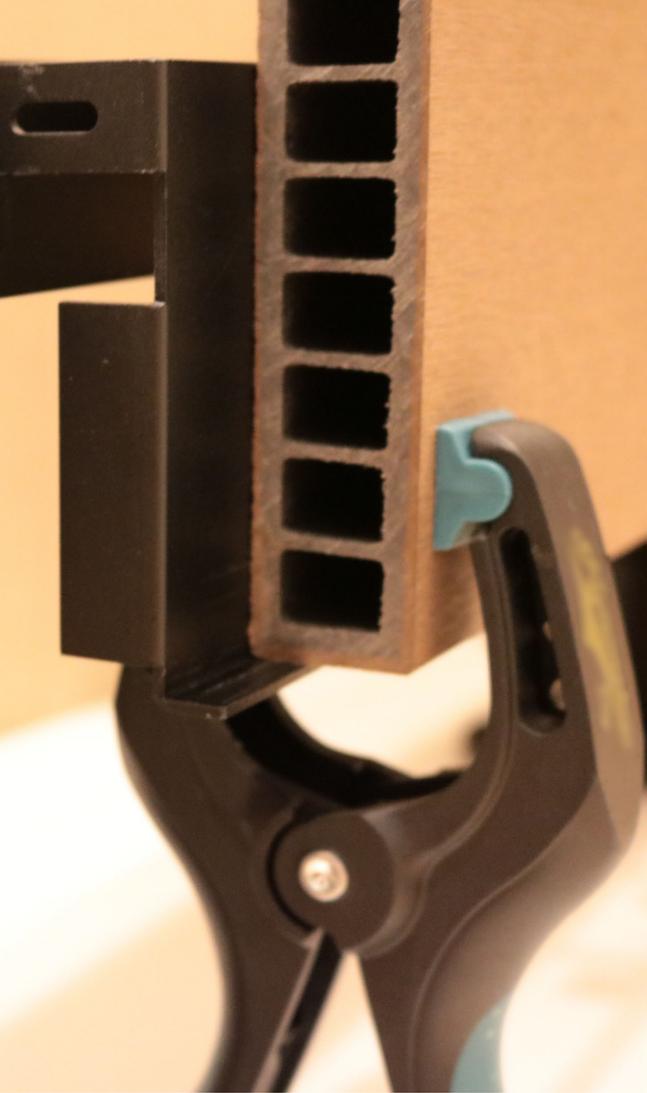
接着剤は1本あたり70～80gが目安です
※マルチポスト本体を除いた重さです

ユニット化したアルミ根太レールを逆さまにして、マルチポストの底面（メッシュ状）に接着剤を塗布します。

墨付けした箇所に合わせてマルチポストのメッシュ状の底面からしっかりと接着剤がはみ出すまで束石に押し付けます。

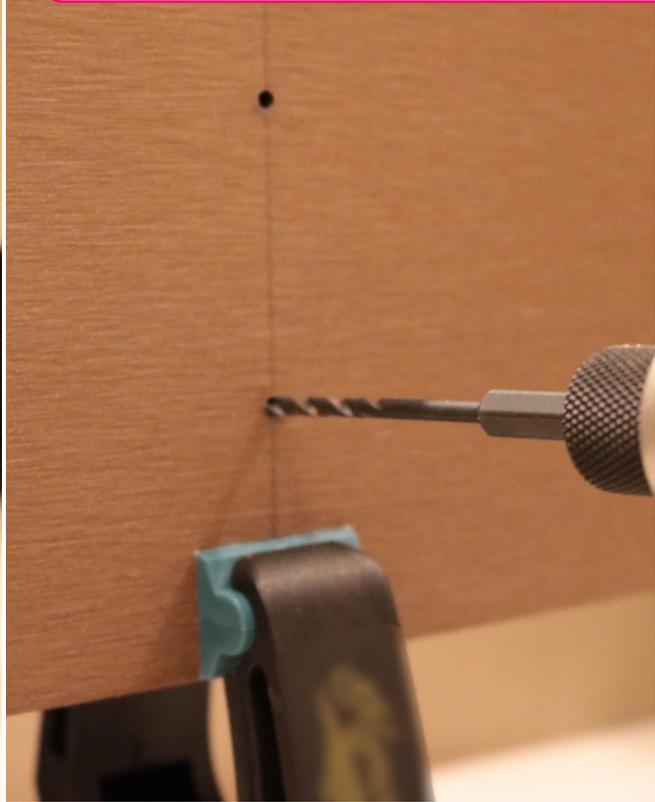


アルミ根太レールの側面、小口面に幕板固定金具をナベドリルビス（ $\Phi 4 \times 25$ ミリ）2本で取り付けます。



幕板固定金具に幕板を仮置きします。
※クランプ等で固定金具と幕板を
固定すると便利です

ご注意 皿頭用のザグリ加工を行う際に
電動ドリルは加減しながらゆっ
くりと廻してください。



幕板の上から幕板固定金具を貫通させる
まで下穴を開けます。
※下穴はΦ3.5ミリのドリルを使用



下穴の位置にΦ10程度の
皿頭用ザグリ加工を行います。
※ザグリ加工は加減をしながら
ゆっくりと開けてください



幕板をサードリルビス
(Φ4×45ミリ)
で固定します。



幕板の端部に接着剤でカバー材を取り付けます。



床板・幕板との間に5ミリの隙間を設けます。ピットガイドを使用する事で均等に隙間を確保でき便利です。

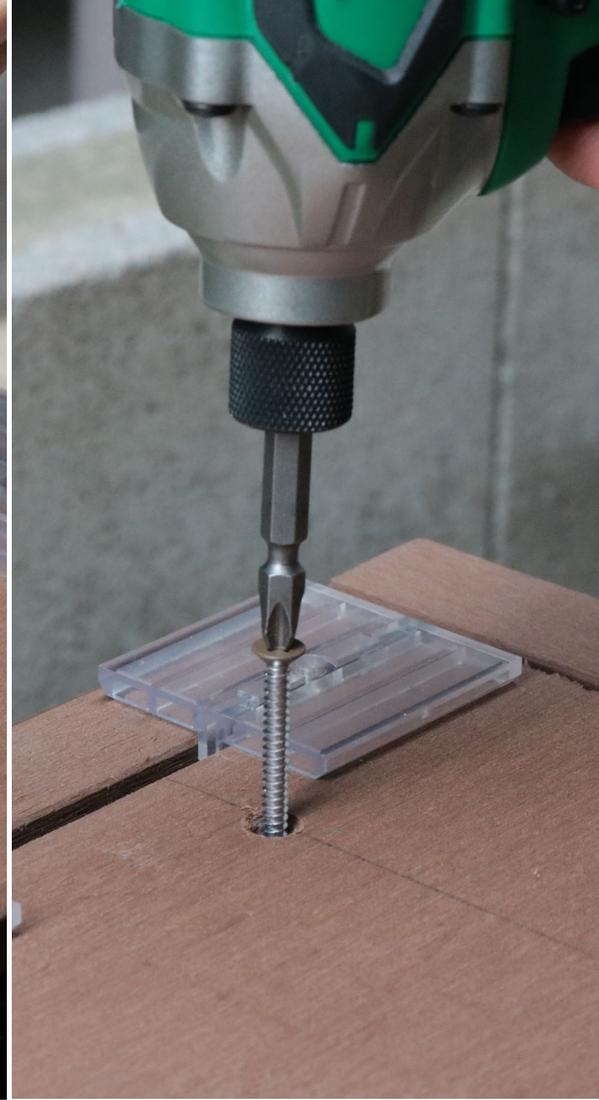


ご注意

皿頭用のザグリ加工を行う際に電動ドリルは加減しながらゆっくりと廻してください。



床板の上からアルミ根太レールを貫通させるまで下穴を開けます。
※下穴はΦ3.5ミリのドリルを使用



床板をサラドリルビス(Φ4×45ミリ)で固定します。

下穴の位置にΦ10程度の皿頭用ザグリ加工を行います
※ザグリ加工は加減をしながらゆっくりと開けてください



施工手順の詳細は施工マニュアルをご参照ください

FUKUVI 

完成！ 自分で造ったデッキは愛着がひとしおです